

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県川西市 川西市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	29	対象	-	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
154,071	36,619	非該当	非該当	7：1

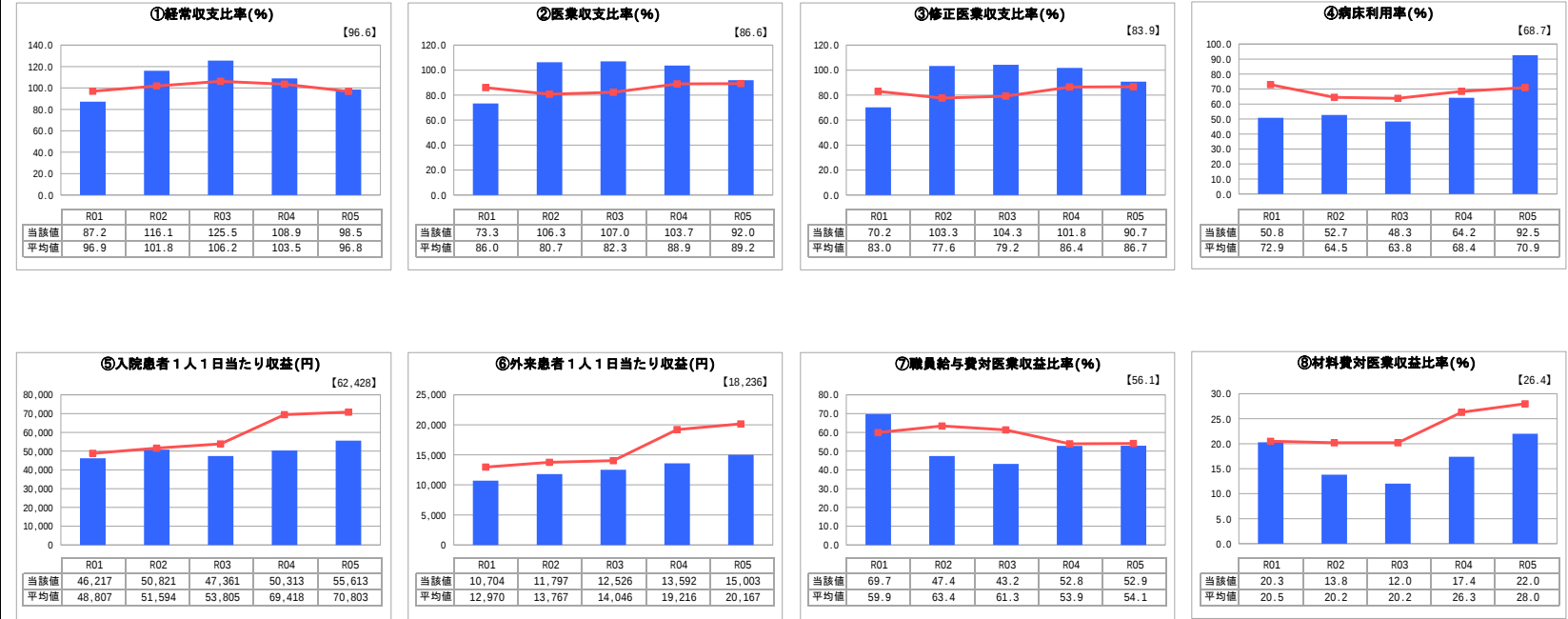
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

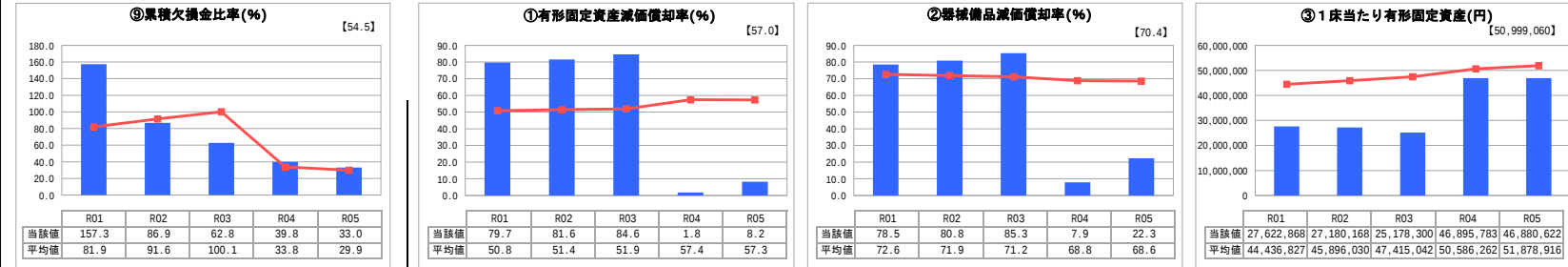
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
405	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	405
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
401	-	401

■ 当該病院値（当該値）
－ 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の病種・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和4年度	-年度	令和元年度

I 地域において担っている役割

市民の命と健康を守り、安心で安全な医療を提供していくために、小児・周産期・救急医療などの政策医療を担うとともに、市内に不足している高度急性期医療の一部を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は98.5%で前年度から10.4ポイント減少しました。要因としては、川西市立総合医療センターの建物や医療機器等の減価償却費（非現金支出費用）の計上が令和5年度から始まったことによるものですが、前年度に比べ新型コロナウイルス患者用の空床確保に伴う補助金が減少する等の影響がある中でも、「川西市立総合医療センター経営強化プラン」に掲げた事業収益・経常利益等の指定管理者の目標値は達成できており、効率的な病院運営を行っていることを認識しています。

2. 老朽化の状況について

川西市立総合医療センターは令和4年9月に開院し、約2年が経過しました。建物が新しいため、老朽化は起こっていませんが、長期修繕計画に基づき、適切な時期に計画的な施設・設備の保全、修繕工事等を今後行っていきます。

全体総括

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されて以降は、救急医療や小児周産期医療などの政策医療により注力しています。特に救急医療については、「断らない医療」をめざし、救急応需案件の分析やベッドコントロールの工夫に取り組んだ結果、高水準の応需率で堅調に推移する等、公立病院として医療の提供に努めています。

令和5年度では、設定した目標を上回る平均病床利用率92.5%を達成しており、全室個室の特徴を活かした適切なベッドコントロールを行っています。

今後も指定管理者と共に、安定した経営のもとで、小児、周産期、救急などの政策医療に取り組み、高度急性期病床を一定確保し、医療の圏域内完結率の向上を図ります。